

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【公開番号】特開 2018-54094 (P2018-54094A)

【公開日】平成 30 年 4 月 5 日 (2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-013

【出願番号】特願 2016-194188 (P2016-194188)

【国際特許分類】

F 1 6 D 13/32 (2006.01)

F 1 6 D 13/69 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 13/32 B

F 1 6 D 13/69 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 22 日 (2019.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

第 1 クラッチ部は、軸方向の第 1 側にクラッチオンのための押圧力を受ける第 1 受圧部を有している。第 2 クラッチ部は、第 1 受圧部と軸方向の隙間をあけてかつ第 1 受圧部に対して軸方向に移動可能に配置され、軸方向の第 2 側にクラッチオンのための押圧力を受ける第 2 受圧部を有している。弾性部材は、第 1 受圧部と第 2 受圧部との軸方向間に配置され、第 1 受圧部及び第 2 受圧部が押圧力を受けたときに弾性変形可能である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

そして、好ましくは、第 1 及び第 2 クラッチ部と第 1 及び第 2 出力部材とは、クラッチハウジングの内周部に收容されている。また、第 1 及び第 2 受圧部は前記クラッチハウジングの内周部に設けられ、第 1 摩擦部は第 1 出力部材の外周部に設けられ、第 2 摩擦部は第 2 出力部材の外周部に設けられている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

円板部 6 には、中心部に孔が形成されている。また、円板部 6 の径方向の中間部には、軸方向内側に突出する複数の突起部 6 b が円周方向に所定の間隔で形成されている。突起部 6 b の周囲には弾性部材 1 0 が装着され、この突起部 6 b 及び弾性部材 1 0 が、入力ギア 8 に形成された孔 8 a に挿入されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 0 】

複数の第 1 収容部 2 0 1 c は、それぞれ円形の凹部であり、軸方向内側の端面から軸方向外側に所定の深さで形成されている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 4 】

複数の第 2 収容部 2 0 2 c は、第 1 クラッチシュー 2 0 1 の第 1 収容部 2 0 1 c に対応する位置に形成されている。第 2 収容部 2 0 2 c は、円形の凹部であり、軸方向外側の端面から軸方向内側に所定の深さで形成されている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 5 】

そして、スプリング 9 が所定量だけ圧縮されると、第 2 クラッチシュー 2 0 2 と第 1 クラッチシュー 2 0 1 とが当接する。したがって、第 1 クラッチシュー 2 0 1 も軸方向外側に押圧され、この時点（図 5 の P 2）から第 1 クラッチシュー 2 0 1 の受圧面 2 0 1 b と第 1 摩擦面 2 5 a との押圧が開始される。そして、2 つの摩擦面 2 5 a , 2 6 a がそれぞれ対応する受圧面 2 0 1 b , 2 0 2 b に押圧されて、第 1 コーンクラッチ C 1 及び第 2 コーンクラッチ C 2 は完全にクラッチオンとなる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 7 0 】

（ d ）前記実施形態のクラッチハウジング 1、クラッチセンタ 2 1、プレッシャプレート 2 2、リリース部材 3 0 の形状、構造は一例であって、種々の変形が可能である。また、リリース部材 3 0 の突起部 3 2 の数、コイルスプリング 4 0 の数などは一例であって、特に前記実施形態の数に限定されない。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 図 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

This diagram shows a complex mechanical assembly in cross-section. The central vertical passage is labeled 1. On the left side (inner side), there are several stacked components: 8 at the top, followed by 6, 10, 8a, 13, 14, 6b, 15, and 27. At the bottom left, there's a circular component 12 connected to a shaft-like part 11, with another part 6c below it. On the right side (outer side), there's a large rectangular block 4 containing various internal features: 21 and 22 near the top, a series of small circles (possibly valves or ports) in the middle, and a larger rectangular feature 23 at the bottom. The top of the assembly includes a cap or cover 7 with internal structures C1 and C2, and a spring-like element 9. A bracket 3 groups the upper right components. At the very bottom, there's a base assembly with parts 201, 202, 202b, 26a, 25a, and 201b. Arrows indicate the inner side (第1側) pointing left and the outer side (第2側) pointing right.

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

